

私が結城さんにお会いしたのは5年前、早稲田大学の高林先生の研究室でのことでした。私は結城さんに修士論文の執筆について相談をしました。

結城さんは私に、優れた論文を書く方法だけでなく、日本の人々の一完璧を目指して諦めることなく一步一步一物事に取り組む姿勢も教えてくれました。

私は様々な面で結城さんを尊敬しています。結城さんは非常に頭の良い方であり、また多くの優れた書籍を著した、知的財産法の素晴らしい研究者でした。

結城さんは80歳を超えてもなお大学に通い、常に一番に教室に現れ、そしていつも私たちの研究に有益な助言をくださいました。

結城さんと過ごした当時、私は日本語が得意ではありませんでした。結城さんはいつも私の考えていることを最大限理解しようと努め、助けの手を差し伸べてくださいました。結城さんの存在なくしては、私は卒業することができなかつたでしょうし、今の私もいなかったかもしれせん。

研究室の人たち皆にとって、特に私たち留学生にとって、結城さんは天使のような方であったと言っても過言ではありません。結城さんは私たちの記憶と心のなかに永遠にいらっしゃるでしょう。